

開成校新聞

発行 開成中等新聞局
発行責任者 宮崎 鳴海

テニス部

5月21日から24日まで第76回

札幌支部高等学校バドミントン選手権大会が行われた。開成は石狩南高校と対戦し、0対3で敗れた。

元部長の6年今井啓順さんは試合について「団体戦は全て負けてしまい、弱さを実感した」と語り、「半年ほど前から目的を意識し



た練習を行っていたが、それでも他校との実力差は埋まらなかった」と反省を述べた。
練習については「昨年の秋の大会から基礎が足りていないと感じ、重要視していた」と振り返った。
今後、後輩に期待することとは「強くなって欲しいのはもちろん、昨年度から顧問の先生の変更など、部活の在り方が変化してきているため、部長・副部长だけでなく、部員一人ひとりが部活に取り組んでいってほしい」と語った。

5月20日から24日まで第54回札幌支部高等学校テニス選手権大会が行われた。男子テニス部元部長6年北村拓さんと女子テニス部部長6年金子



史さんに今回の試合と練習について、お話を伺った。
北村さんは団体戦について「自分はずっといかなかったけれど、4、5年生が頑張っていた」と振り返った。
練習については「春の大会で得たことを活かして、ダブルスのペアの組み方を工夫するなど、自分たちよりも強い高校に勝つ方法を考えていた」と述べた。
そして後輩に対しては「秋の大会では全道大会に進んでほしい」と望んだ。
金子さんは団体戦について「ベスト8に入れて全道大会に進める喜びと、ベスト4進出をかけた試合で、接戦の末に負けてしまった悔しさがある。次の大会ではリベンジしたい」と語り、決意を固めた。
練習については「高体連での全道大会に進むという共通の目標を立てて、それに向かって、シングルス・ダブルスのゲームを中心に取り組んでいた」と振り返った。
そして後輩に対して「全道大会も、秋の大会も、来年も頑張ってもらいたい」と激励した。

試合結果

札幌開成 石狩南

0対3

試合結果

男子団体

ベスト16

女子団体 5位

女子団体

全道大会出場決定!

おめでとう!

バドミントン部 男子